

# 社会科（地理的分野）学習指導案

令和 7年 月 日（ ）  
2年 組 名  
授業者

## 1 単元名 中部地方

## 2 単元設定の理由

### （1）生徒の実態

自分の意見や考えを積極的に発言でき、協力して学習課題を解決しようとする生徒がいる一方で、意見を発表することや他者と意見交換、協力することが苦手な生徒も一定数いる。また、資料から読み取ったことを根拠にして考察したり、根拠に基づいて自分の意見や考えを説明したりすることが苦手な生徒も多い。また、社会的事象を一面的に捉えることに終始してしまうことがあり、自分と級友の意見を比較し共通点や相違点を見出したり、複数の社会的事象を関連付けて考察したりすることに課題が見られる。

### （2）教材観

本単元は、学習指導要領地理的分野「C 日本の様々な地域（3）日本の諸地域」の内容に基づいて構成したものである。本単元では、日本を7地方に区分した中部地方を取り上げ、中部地方の産業について、自然環境、交通、歴史的背景等と関連付け、産業が地域の気候や地形、交通、歴史的背景等と深い関係をもっていることについて考察を行う。

本単元で取り上げる中部地方の東海、中央高地、北陸の3つの地域では、各地域の自然条件や社会的条件を生かすことで特色ある産業が発達しており、地域の産業の特色と気候や地形、交通、歴史的背景等と関連付けて考察しやすい地域である。また、工業生産額は7地方の中で最も高く、愛知県の自動車工業や長野県の電気機械工業、福井県のめがねフレーム加工など、日常生活で生徒たちと関わりがある製品も多い。農業生産額も全国的に見て高く、東海の施設園芸農業や茶、中央高地の果樹栽培や高原野菜、北陸の稲作等、地域の特色を生かした農業が多く見られる。

### （3）指導観

本単元の指導にあたっては、中部地方の産業の特色を気候や地形、交通、歴史的背景等と関連付けて考察し、説明ができるようにしたい。ICTや思考ツールを活用しながら、社会的な見方・考え方を働かせて課題を追求する学習を行う。ここでは、タブレット端末等を活用して資料を読み取ったり自分の考えを説明したりしながら意見交流を行い、情報を比較したり、関連付けたりすることができるようにする。まとめる段階では、中部地方の産業の特色について、これまでの学習で考察したことやまとめた情報を、タブレット端末等を活用し、自分の言葉で表現することができるようにする。

### 3 単元の目標

- 中部地方の産業の特色を、気候や地形、交通、歴史的背景等と関連付けて理解することができる。  
【知識及び技能】
- 中部地方の各地域において特色ある産業が発達している理由を、気候や地形、交通、歴史背景等と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。  
【思考力、判断力、表現力等】
- 持続可能な地域づくりの実現を視野に、中部地方の地域的特色を主体的に追究しようとしている。  
【学びに向かう力、人間性等】

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取るとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。	中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。	産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に追究しようとしている。

### 5 指導と評価の計画（全6時間）

○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

次	ねらい・学習活動等	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
第一次 1時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【ねらい】日本の中央部に位置する中部地方の地形や気候の特色をとらえさせる。</div> ◇中部地方の地形や気候の特色を、地図や雨温図を基にとらえさせる。	○			○中部地方の気候の特色を、東海・中央高地・北陸に分けて説明している。（ワークシート）
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【ねらい】名古屋を中心とする地域で、どのようにして自動車などの輸送機械工業が盛んになったのかをとらえさせる。</div>				

1 時 間	◇中京工業地帯で、輸送機械工業がさかんである理由を、資料を基に考察し、まとめさせる。		●	●豊田市を中心とした地域で自動車工業が発達した理由を、産業の移り変わりや人々の工夫、周辺地域との結びつきに着目して考察している。 (ワークシート・観察)
第 三 次	【ねらい】東海の産業は、自然環境や交通網などの条件を生かして、どのように発展してきたのかをとらえさせる。			
1 時 間	◇東海の産業は、用水路が整備されたこと、大消費地と交通網で結ばれていること等により、発達してきたことを資料から読み取り、まとめさせる。		○	○静岡県で楽器の生産や製紙業が発達した背景を、豊富な水資源や森林資源とその加工技術との関わりから説明している。 (ワークシート)
第 四 次	【ねらい】内陸で山あいの環境にある中央高地で、時代の変化とともに、どのような産業が発展したのかをとらえさせる。			
1 時 間	◇中央高地でさかんな産業の移り変わった理由と、涼しい気候を生かした農業の特色を、資料を基にまとめさせる。	●		●中央高地の産業の変化について、諸資料を参考に、自然環境や歴史的な経緯、交通網の発展と関連づけて説明している。 (ワークシート・観察)
第 五 次	【ねらい】雪が多い北陸では、どのような産業が発達してきたのかをとらえさせる。			
1 時 間	◇北陸で、稲作や地場産業がさかんになった理由について、資料から考察し、まとめさせる。	○		○北陸で地場産業が発達した理由を、地域の歴史的な背景や気候の特色と関連づけて、説明している。 (ワークシート)

第六次 1時間 (本時)	【ねらい】 中部地方における産業の発展と、自然環境やインフラの整備はどのように関わっているのかとらえさせる。			
	◇中部地方の産業の発展が、自然環境や交通網の整備と関わりについて、東海、中央高地、北陸に分けて考察し、まとめさせる。	●		●既習内容を振り返り、東海、中央高地、北陸の三つの地域の産業の発展と自然環境、インフラの整備と関係性を多面的、多角的にとらえ、表現している。 (タブレット)

## 6 本時

### (1) 目標

中部地方における産業の発展と、自然環境やインフラの整備との関係性について多面的・多角的に考察し、表現することができる。

### (2) 展開

時間	学習活動	指導の手立てと評価
5	1 これまでの学習内容を振り返る。	○中部地方は、東海、中央高地、北陸に区分され、それぞれの特色があったことを確認させる。
学習課題 中部地方の産業の発展と、自然環境やインフラの整備はどのように関わっているのだろうか。		
15	2 東海、中央高地、北陸の自然環境、農業、工業の特色をまとめ、確認する。	○タブレットで地域ごとにまとめるように指示する。
15	3 中部地方の産業の発展と、自然環境やインフラの整備はどのように関わっているのかを考え、まとめる。	○それぞれの地域の工業や農業と自然環境、インフラの発達がどのように関わっているのかに着目するよう助言する。 ・東海、中央高地、北陸の三つの地域の産業の発展と自然環境、インフラの整備と関係性を多面的、多角的にとらえ、表現しているか。 (タブレット)
10	4 まとめた結果を全体に発表し、共有する。	○タブレットを活用し、効率よく情報共有ができるよう工夫する。
5	5 本時のまとめを行う。	○中部地方の産業の発展と自然環境、インフラの整備との関わりを確認する。

(3) 評価及び指導の例

<p>「十分満足できる」状況と判断される具体的な例</p>	<p>東海 名古屋を中心とする地域では、繊維工業における技術を土台とした自動車工業が発達した。大規模な用水路が整備され、園芸農業がさかんになり、交通網の発達によってさまざまな地域へ農作物を出荷している。</p> <p>中央高地 扇状地の日当たりや水はけのよさを生かした果樹栽培や、夏の涼しい気候に適した高原野菜の栽培が盛んになり、交通網の発達によって、観光農園に大都市圏から多くの観光客が訪れるようになったり、収穫した野菜を素早く大都市圏に出荷できるようになったりした。</p> <p>北陸 豊富な雪どけ水を生かして米が単作で作られており、雪に覆われて農業ができない冬季の副業として、数々の地場産業が発達した。</p>
<p>「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導</p>	<p>中部地方の産業が発達した理由について、自然環境やインフラの整備との関係性に着目するように助言をする。</p>